

充実したカリキュラムと、 乳幼児教育のエキスパートによる手厚い指導

乳児クラス

| 内容 | 0～1ヶ月 | 2ヶ月 | 3ヶ月 | 4ヶ月 | 5ヶ月 | 6ヶ月 | 7ヶ月 | 8ヶ月 | 9ヶ月 | 10ヶ月 | 11ヶ月 | 12ヶ月 | 13～16ヶ月 (1歳1ヶ月～ 1歳4ヶ月) | 17～20ヶ月 (1歳5ヶ月～ 1歳8ヶ月) | 21～24ヶ月 (1歳9ヶ月～ 2歳) | 25～31ヶ月 (2歳1ヶ月～ 2歳7ヶ月) | 32～36ヶ月 (2歳8ヶ月～ 3歳) | |
|-------|-------------------------|---|---------------------------|----------|-------------------------|-----------------------------|-------------------|------------------------|---|---------------------------------------|------------------------------|-----------------------|------------------------------|------------------------------|---------------------------|------------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 感覚・認知 | おむつ体操① | C線維カレスシステム (親子で一体感が生まれる) おむつ体操② | 追視 | いないいないバア | 鏡あそび (顔の認知) | 発音を促す遊び (アー、オー、イーの口を見せる) | 動くものを追視し、予測する | かくれんぼあそび | | 色の認知 | 大小の認知 | 形の認知 | 数の認知 | 仲間探しカード (色覚パターンを直感で区別する) | 長さ・重さの認知 | ナインボール (奇数の感覚になじむ) | 微妙な色を区別する | Kパッチカード (図形例を見て促す) |
| 身体 | 他力でうつぶせ | 迷路反射を利用してあおむけからうつぶせになる のうけん椅子に座る(箱) (おすわりの準備) オリジナル教材① | おむつ体操③ (ストップができるように促す) | まんまる体操 | ずりばいから四つん這いはいはい(四肢を鍛える) | 立つ (自力でつかまて) | 跳ぶ (感覚を経験させる) | 足の間に歩いて歩く (リズムを覚える) | 歩く | 線の上を歩く、赤で止まる (言葉で伝えて、歩いたり止まったりできる) | 平面跳び (ケンステップ) (足でグーパー) | 幼児用の椅子に座る | | | | | | |
| 手 | 握る (把握反射) 親指を外に出す | 5本の指で握る (反射を利用して握り方を覚える) | | つまむ・入れる | 握る(鈴) (手首を振る) | 打ち合わせる (コップを両手に持つ) | 投げる (投てき動作を促す) | 鉛筆を持つ | ナインボール (プレジジョングリップ) オリジナル教材② | ひも通し (両手を使う) | とめる (スナップボタン) | Kパッチ (凹凸を上下左右に動かす) | 結ぶ | | | | | |



くぼたのうけんに通うと、
褒めることの大切さを
知ることができます。

教室では、講師が「上手な褒め方」をお教えます。褒められると、子どもの脳内には「ドーパミン」という快樂物質が分泌され、神経細胞の働きが良くなるのです。

久保田カヨ子先生考案の 豊富なオリジナル教材

久保田カヨ子先生は、久保田式育児法だけではなく、その実践を助けるオリジナル教材の開発にも力を注ぎました。同じ教材でも、使い方を工夫することで乳児・幼児さまさまざまな月齢の育脳に役立ちます。ここでその教材の一部を見てみましょう。

▶ オリジナル教材① 活用カリキュラム例

0歳児カリキュラム のうけん椅子

久保田カヨ子先生が、赤ちゃんにぴったりのサイズにこだわって考案した椅子。付属の箱の中に入ること、転倒を防ぎます。(対象月齢：2カ月半～2歳程度)



ポイント

- のうけん椅子の背もたれに背中をつけ、両足は床にぴったりとくっつけます。姿勢よく座ることは、集中して取り組むことにつながっていきます。

生まれた時から良質で新しい刺激を子どもに与え続けることが大切。そうはいっても、ご家庭で日々新しいことを子どもに経験させるのはなかなか大変です。

くぼたのうけんでは、月齢・年齢ごとに「認知」「身体」「手」（幼児クラスからは「言語」「暗算」）それぞれの観点から、前頭前野を

鍛える独自のカリキュラムを実践しています。さらに、各カリキュラムを行う適切なタイミングについても考え抜かれています。例えば0～1歳児「手」のカリキュラムでは、「握る」から始まり、次に「つまむ」「両手を使う」というように、身体の発達に応じて取り組むことで、最終的に「鉛筆を持つ」「道具を使う」などの高度な器用さが必要な

動作に繋がっていきます。

レッスンは月齢・年齢別に分けられた少人数制で行います。乳幼児教育に精通した講師が、久保田式育児法を細かいポイントまで踏まえて丁寧にお教えし、お子様の育脳をサポートいたします。

幼児クラス

| 内容 | 年少 | 年少 | 年中 | 年長 |
|----|----------------------------|--|--|---|
| 認知 | 色・大きさの仲間探し Kパッチ | 色・大きさ・形について（話を聞く） 数の概念がわかる（多い・少ない・同じ） 数字と数量を一致して理解する（足し算の概念） | 数の概念がわかる（サイコロ） Kパッチ（見本と同じになるように置く） オリジナル教材③ | 数の概念（通分・約分に繋がる考え方を身につける） 分けっこ遊び（色・形・大きさで分ける） 天びんばかりを自分で作る 方向感覚（地図をかく） 形の構成（推理しながら図形を形成する） |
| 身体 | いろいろな身体の動かし方 キャッチボール | 指示を記憶して行動する いろいろな身体の動かし方 2～3つのことを同時に行う | 手と足とで違う動きをする 大縄跳び ルールを守って遊ぶ | 複雑な指示を記憶し行動する 身体を使って方向感覚ゲーム |
| 手 | 道具の使い方 うんぴつ オリジナル教材④ | ひも通し（縫うように順番に） 折り紙 布で包んで結ぶ、ほどく うんぴつ・模写 | 紙で包む ちょう結び 雲型定規 じゃばら折り・三角折り・五角折り 箸あそび かた結び・ちょう結び・三つ編み | 平面から立体を作る 雲型定規などで型をとる パズル作り うんぴつ・模写 |
| 言語 | ことわざ | ことわざ | 論語など | 百人一首など |
| 暗算 | 足し算 | 足し算 | 引き算 | かけ算 |

▶ オリジナル教材② 活用カリキュラム例

0歳児カリキュラム ナインボール

ボールを取り出すためには、指先でつまむ必要があります。てのひらで握ろうとしても取り出すことができません。（対象月齢：10ヵ月～）



- ポイント
- プレジジョングリップ（5本の指先だけが物に触れている握り方）でボールをつまむように促します。上手に取れるようになったら、色・位置・数を指定し、その通りにボールを配置できるよう子どもに指示します。

▶ オリジナル教材③ 活用カリキュラム例

年中クラスカリキュラム Kパッチ



○△□の3つの図形を組み合わせて作ったパズル。いくつかのKパッチを組み合わせて遊ぶことで、直感的に判断できる能力を養います。

▶ オリジナル教材④ 活用カリキュラム例

年少～年長クラスカリキュラム うんぴつ（プリントワーク）

鉛筆の動きをコントロールする練習です。決められた時間の中で集中して取り組みます。上達すると、できる枚数が増えていきます。



- ポイント
- よい姿勢を保つことが、集中力を高めることにつながります。

くぼたのうけんは お父さん・お母さんのための教室です

育脳のためには、実は週1回の教室で行うカリキュラムだけでは十分ではありません。教室で学んだことを自宅で毎日繰り返し行うことが大切です。

お父さん・お母さんが一緒に楽しみながら、自宅でも継続して働きかけてあげましょう。教室では各ご家庭それぞれのお悩みや疑問にも個別にお答えいたします。

